

## 今月の図書館トピックス

・パネル展示が新しくなりました！

館内入口「津島神社と天王祭展①」 館内奥「津島図書館の歴史展①」

・つしま講座開催 「古地図に描かれた津島の街と今」

講師：大橋忠彦氏（津島ガイドボランティア会長）5/17（日）10:00～11:30

### 津島神社と天王祭展 ～そのナソにせまる～

玄関脇のパネルが、津島の風景を撮った写真展から、津島神社と天王祭の特集に替わりました。

「津島神社、あまり行ったことないな～」「どんな神様が祀られているの？」「宵祭って、何をする祭りなの？」

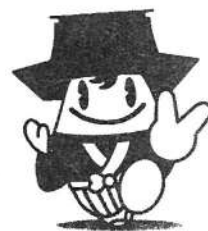
そう思った方は、ぜひ読んでみてください。

神社や天王祭に関係した本も集めていますよ！



祭の主役  
「マツキー」

津島の顔  
「つし丸」



## 本に登場した津島（おすすめ！）

図書館の本を読んでいると、思いがけず地元に関する話題に出会うことがあります。今回は、津島市にゆかりのある人物と、津島市内にあるお店について触れられていた本をご紹介します。

『手』（山崎ナオコーラ/著 文藝春秋 913.6ヤ）

主人公である25歳の女性・サワコの愛読書として、津島市出身の詩人・金子光晴の名前が挙げられています。著者は、第41回文藝賞を受賞をした『人のセックスを笑うな』で2004年にデビュー。ユニークな筆名「ナオコーラ」は、コーラが好きなことに由来するそうです。

『自転車日和』vol.6（辰巳出版 786.5シ）

津島市内で自転車屋さんを営まれている、「ヤマシゲサイクル」の若き店長が、50kmサイクリングの楽しみ方についてアドバイスをされています。『自転車日和』の最新号・vol.10にも、お店の紹介が掲載されていますよ。堅苦しくなく、自転車初心者の方も気軽に楽しめるシリーズです。

## ☆新着図書☆

『元気になれる小さな旅』 三島 衣理/著

ゆいぽおと 291.5ミ



旅先などで、「何となく気持ちがよくて、元気が出る場所」と、「何となく気持ちが悪くて、気分が沈む場所」がある、と感じたことはありませんか？

本書では、編集者・インテリアプランナー・ヒーラーなどの肩書きを持つ著者が、実際に足を運び、よい「気」が充電できると感じた東海3県の「パワースポット」を紹介しています。

最近、お疲れ気味・・・という方は、元気を養いに小さな旅に出かけてみませんか？

## ☆ベストリーダー☆ 先月の利用の多かった本をご紹介します

『津島ゆかりの素晴らしき人々津島人物伝』 天王文化塾/編 ←またまた首位を獲得。

『津島物語』 ←郷土史関連の本は根強い人気があります。

『司会・幹事進行とあいさつ実例集』 すびーち工房/編

『切り紙だいすき。』いしかわまりこ/著 ←静かなブームの切り紙。あなたも挑戦してみませんか？

『C言語によるコンピュータ入門』 豊田正〔ほか〕/著

『エッジ』上・下 鈴木光司/著 ←『リング』シリーズ以来、10年ぶりのホラー小説。

『警官の紋章』 佐々木譲/著 ←洞爺湖サミットを控えた北海道警察に巻き起こる事件を描いた小説。

『告白』 湊かなえ/著 ←「本屋大賞 2009」1位を獲得！当館でも予約が殺到している話題作です。

『判決の誤差』 戸梶圭太/著 ←裁判員制度をテーマにした法廷ミステリー小説。

『バカが国家をやっている』 勝谷誠彦/著 ←政治家・官僚の笑えない罪深さを糾弾！

## ☆図書館のホームページをご利用ください☆

本の検索や、行事などの予定、図書館員の日記（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。

キーワードは「津島市立図書館」。 <http://www.justmystage.com/home/toshokan/>

休館日：5月26日(火)

(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145